

受験番号	
------	--

※記入漏れ注意

群馬パース大学 看護実践教育センター
認定看護師教育課程 摂食・嚥下障害看護分野
2021 年度受講者選抜試験

【 専 門 科 目 】

※ 注 意 事 項

1. 指示があるまで開かないこと。
2. 受験番号を必ず問題用紙表紙上部の欄に記入すること。
3. マークシートには「氏名」を記入し、「番号」に受験番号を記入・マークすること。正しく記入・マークされていない場合は採点できないことがあるので注意すること。氏名・番号・解答記入欄以外の欄には記入しないこと。
4. 解答は、マークシートの解答記入欄にマークすること。解答方法は、選択肢のうち質問に最も適した選択肢を1つ解答記入欄にマークすること。

例えば、**1**の問いに対して解答する場合は、**解答番号1**の**解答記入欄**にマークすること。

解答 番号	解 答 記 入 欄									
1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

(例) ③と解答する場合

5. 試験中に問題用紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及びマークシート・記述用解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題用紙の余白等は適宜使用してよいが、どのページも切り離さないこと。
7. 試験終了後、問題用紙・マークシートは回収する。

以上

問1 顔面神経に支配されているものはどれか。

1

- ① 咬筋
- ② 側頭筋
- ③ 頬筋
- ④ 外側翼突筋

問2 咀嚼筋はどれか。

2

- ① 口輪筋
- ② 頬筋
- ③ 笑筋
- ④ 側頭筋

問3 乳歯は何本か。

3

- ① 16本
- ② 20本
- ③ 22本
- ④ 24本

問4 無機質の占める割合が最も高い組織はどれか。

4

- ① エナメル質
- ② 象牙質
- ③ セメント質
- ④ 骨

問5 味蕾がない舌乳頭はどれか。

5

- ① 糸状乳頭
- ② 茸状乳頭
- ③ 葉状乳頭
- ④ 有郭乳頭

問6 舌の後ろ 1/3 の味覚を伝える脳神経はどれか。

6

- ① 三叉神経
- ② 顔面神経
- ③ 舌咽神経
- ④ 舌下神経

問7 喉頭蓋が封鎖するのはどの間か。

7

- ① 鼻腔と口腔
- ② 鼻腔と喉頭
- ③ 口腔と喉頭
- ④ 咽頭と喉頭

問8 導管が口腔前庭に開口しているものはどれか。

8

- ① 耳下腺
- ② 顎下腺
- ③ 舌下腺
- ④ 口蓋腺

問9 咽頭に関して誤っているものはどれか。

9

- ① 咽頭扁桃は咽頭の上後壁の粘膜にあり子どもでよく発達している。
- ② 咽頭扁桃が病的に大きくなるとアデノイドとよばれる。
- ③ 耳管は咽頭の上部の側壁にあり中耳から咽頭へ通じる管である。
- ④ 咽頭壁筋層は平滑筋でほとんど意志の支配を受けない。

問10 食道の粘膜上皮はどれか。

10

- ① 重層扁平上皮
- ② 単層扁平上皮
- ③ 単層円柱上皮
- ④ 移行上皮

問 11 加齢による変化で誤っているものはどれか。

11

- ① 味覚閾値の低下
- ② 残気量の増加
- ③ 手指の巧緻性の低下
- ④ 消化液の分泌低下

問 12 認知症の特徴で誤っているものはどれか。

12

- ① アルツハイマー型認知症は緩徐に進行する。
- ② 血管性認知症は脳梗塞などによる神経症状を伴う。
- ③ レビー小体型認知症は歩行障害、幻視がある。
- ④ 前頭側頭葉変性症は視覚失認がある。

問 13 頭頸部がんの要因で誤っているものはどれか。

13

- ① 飲酒
- ② 喫煙
- ③ ヒトパピローマウイルス
- ④ 無菌顎

問 14 高次脳機能障害の説明で誤っているものはどれか。

14

- ① 神経心理循環では、意識・覚醒、運動・姿勢、摂食嚥下などが下層の土台となる。
- ② 意識の内容を担うのが上行性網様体賦活系、意識の覚醒を担うのが大脳皮質である。
- ③ ペーシング障害は、前頭葉症状の一つである。
- ④ 食べることは、高次脳機能のフル活動そのものである。

問 15 アルツハイマー型認知症の説明で誤っているものはどれか。

15

- ① 大脳皮質に出現する病理変化として、老人斑と神経原線維変化が特徴的である。
- ② 老人斑や神経原線維変化の量が、認知機能低下に比例する。
- ③ 軽度認知障害（MCI）では、日常生活を営むことは可能である。
- ④ 典型的な症状として、記憶障害、嗅覚異常、視空間認知障害などが挙げられる。

問 16 学習性不使用の説明で誤っているものはどれか。

16

- ① 神経が使用しないことを覚えてしまった状態のことである。
- ② 学習性不使用の状態となった神経に働きかける訓練手法を、CI療法という。
- ③ 主に末梢神経への働きかけが訓練のターゲットとなる。
- ④ 学習性不使用の改善を目的に口唇の運動訓練を行う場合は、非麻痺側の口唇運動を制限して実施する。

問 17 廃用症候群の説明で誤っているものはどれか。

17

- ① 長期臥床により循環血液量は低下し、起立性低血圧の原因となる。
- ② 長期臥床により、最大酸素摂取量は低下する。
- ③ 拘縮は、顕微鏡レベルでは1日、臨床的には3日程度で生じる。
- ④ 長期臥床傾向にある人に対しては、Ca量が多い経腸栄養剤を選択することが望ましい。

問 18 中枢神経の説明で誤っているものはどれか。

18

- ① 顔面神経核は、上部が両側支配、下部が一側支配である。
- ② 三叉神経の運動枝は両側支配である。
- ③ 嚥下中枢は延髄に存在する。
- ④ 中枢神経障害では、弛緩性麻痺を呈することが多い。

問 19 脳血管疾患によって生じる嚥下障害で誤っているものはどれか。

19

- ① 偽性球麻痺は、皮質脊髄路の両側性核上性病変によって生じる。
- ② 偽性球麻痺では、嚥下反射は残存するが惹起性が低下する。
- ③ 球麻痺は、延髄の運動神経核の障害により、発声・呼吸・嚥下・循環などに障害をきたす症状の総称である。
- ④ 球麻痺では、疑核の障害により食道入口部開大不全が生じることがある。

問 20 パーキンソン病の説明で誤っているものはどれか。

20

- ① レビー小体が大脳や脳幹などに蓄積する疾患である。
- ② 動作緩慢や姿勢反射障害などの症状が出現する。
- ③ 錐体外路症状として、筋緊張低下・運動減退症候群が特徴である。
- ④ ドパミン神経が減少する。

問 21 日本の将来推計人口で、2025 年の 65 歳以上の人口が総人口に占める割合のうち、最も近いものはどれか。

21

- ① 15%
- ② 30%
- ③ 45%
- ④ 60%

問 22 看護理論家とその業績の組み合わせで正しいものはどれか。

22

- ① ヘンダーソン — 『看護覚え書』
- ② アブデラ — 『患者中心の看護』
- ③ トラベルビー — 『人間関係の看護論』
- ④ ペプロウ — 『人間対人間の看護』

問 23 世界保健機関（WHO）のヘルスプロモーションの考え方で適切なものはどれか。

23

- ① プライマリーヘルスケアとは相反する。
- ② 人々が自らの健康をコントロールする。
- ③ 二次予防活動を促進する。
- ④ バイオメディカルエシックス（生命医学倫理）を基本理念とする。

問 24 患者の権利主張を支援・代弁していくものはどれか。

24

- ① アドボカシー
- ② エンパワメント
- ③ パターナリズム
- ④ コンプライアンス

問 25 介護保険で誤っているものはどれか。

25

- ① 第 1 号被保険者は 65 歳以上である。
- ② 要介護認定は市町村が行う。
- ③ 費用は原則 1 割利用者負担である。
- ④ 介護支援専門員は看護職か福祉職のいずれかである。

問 26 経鼻経管栄養法とその目的との組み合わせで正しいものはどれか。

26

- ① 栄養物を常温に戻す — 下痢の予防
- ② 注入前に空気を入れる — チューブの閉塞の予防
- ③ 注入後微温湯をいれる — 腹部膨満の予防
- ④ チューブをクレンメで止める — 抜管の予防

問 27 副雑音の分類で正しいものはどれか。

27

- ① いびき様音 — 連続性ラ音
- ② 捻髪音 — 連続性ラ音
- ③ 笛声音 — 断続性ラ音
- ④ 胸膜摩擦音 — 断続性ラ音

問 28 看護師が行う看護過程で適切なものはどれか。

28

- ① 問題解決思考である。
- ② 医師の指示の下で計画を立てる。
- ③ ゴール設定後の目標変更は行わない。
- ④ アセスメント、計画立案、評価の3段階で構成される。

問 29 インシデントレポートで誤っているものはどれか。

29

- ① 原因を追求し対策を考える。
- ② 報告はだれがしてもよい。
- ③ 各部署が活用しやすい書式を使用する。
- ④ 異なる職種間で情報を共有できるシステムを構築する。

問 30 1日エネルギー所要量が 2300 kcal の標準体型の 40 歳の男性。1 日の脂肪摂取量で適切なものはどれか。なお、脂肪 1 g は 9 kcal として計算する。

30

- ① 35 g
- ② 55 g
- ③ 80 g
- ④ 100 g

問 31 摂食嚥下の 5 期モデルで誤っているものはどれか。

31

- ① 先行期では覚醒状態を評価する。
- ② 準備期では食塊が咽頭方向に送り込まれる。
- ③ 咽頭期では嚥下反射が生じる。
- ④ 食道期では輪状咽頭筋が弛緩する。

問 32 スクリーニングテストの方法で正しいものはどれか。

32

- ① MWST は口腔前庭に冷水 3 ml を注いで実施する。
- ② 水飲みテストは水 20 ml を用いて実施する。
- ③ RSST では 1 分間に 3 回であれば正常と評価する。
- ④ 咳テストでは 30 秒間で 3 回以上の咳が出れば陰性と判定する。

問 33 間接訓練と目的の組み合わせで誤っているものはどれか。

33

- ① 舌の抵抗運動 — 舌圧の改善
- ② ハードブローイング訓練 — 鼻咽腔閉鎖不全の改善
- ③ 嚥下おでこ体操 — 喉頭挙上の改善
- ④ シャキア訓練 — 喉頭挙上の改善

問 34 直接訓練の開始基準で正しいものはどれか。

34

- ① 意識レベルが JCS 二桁の時間帯があること。
- ② 咳テストの判定結果が陽性であること。
- ③ 脳血管疾患の進行がないこと。
- ④ 気管カニューレが留置されていないこと。

問 35 レビー小体型認知症について誤っているものはどれか。

35

- ① 前頭葉の血流低下が特徴である。
- ② 便秘や嗅覚障害は初発症状であることが多い。
- ③ レム睡眠行動障害は典型的な症状の 1 つである。
- ④ 錯視の有無の評価にはパレイドリアテストが有効である。

問 36 半側空間無視がある患者への看護で正しいものはどれか。

36

- ① 非無視側の情報量を減らし、無視側の情報量を増やしていく。
- ② 食事介助は非無視側から実施することが望ましい。
- ③ 同名半盲を伴うため無視側への転倒に注意する。
- ④ たまねぎ現象が生じるように援助する。

問 37 気管カニューレの説明で正しいものはどれか。

37

- ① 喉頭挙上を阻害する。
- ② カフ付きカニューレの場合、声門下圧が上昇する。
- ③ 咽頭知覚が過敏となる。
- ④ カフ圧は 20 cm H₂O 前後に調整する。

問 38 栄養法の説明で正しいものはどれか。

38

- ① 経鼻胃管を英語でマーゲンチューブという。
- ② 液体の半消化態流動食は、8Fr 以上の栄養チューブであれば滴下可能である。
- ③ 胃瘻は一度造設すると経口摂取の回復が困難となる。
- ④ トライツ靭帯の手前まで栄養チューブ先端を留置させると、逆流予防に効果的である。

問 39 胃瘻の管理方法で正しいものはどれか。

39

- ① バンパー埋没症候群の予防に向けて、1日に一度胃瘻カテーテルを回転させる。
- ② 腹膜刺激症状として、反跳痛の有無を確認する。
- ③ ボタン型バルーンタイプの胃瘻カテーテルは、ボールバルブ症候群の発生に注意する。
- ④ 胃瘻カテーテルの外部ストッパーと皮膚の間には、3 cm 程度の間隔を設ける。

問 40 摂食機能療法の摂食嚥下支援加算で正しいものはどれか。

40

- ① 150点を算定できる。
- ② 算定は週に1回まで可能である。
- ③ 摂食・嚥下障害看護認定看護師の存在が算定要件となる。
- ④ 月に1回以上、VFとVEの両方を実施することが算定要件となる。